



『内部統制報告制度』 —有効性評価の実務と事例研究—

～理論と実践のポイントを短時間で身に付ける～

主催：(株)企業研究会／協力：TAC株

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

《開催要領》

日時▶ 2017年 5月 15日(月) 13:00～17:00
会場▶ 東京／企業研究会セミナールーム(東京：麹町)
名古屋／TAC名古屋校(名古屋：名鉄バスターミナルビル9F)
大阪／TAC梅田校(大阪：梅田センタービル5F)

《オンラインLIVEセミナーとは》

当セミナーは、講師が来場する東京会場をメイン会場として、その模様を名古屋会場・大阪会場に中継致します(名古屋会場・大阪会場への講師の来場はありません)。中継については、TV制作会社である(株)東通が担当し、双方向コミュニケーションにより、名古屋会場・大阪会場からの質疑応答も可能です。

講師 樋口公認会計士事務所 公認会計士・CIA・CFE 樋口洋介 氏

99年横浜国立大学経営学部卒業、13年ビジネス・ブレイクスルー大学院経営学研究科修了(MBA)。00年に監査法人トーマツへ入所し、上場企業の財務諸表監査やリスクマネジメント業務に従事。06年より現職。「組織の機能不全の防止・発見・是正」を事業ドメインとして、上場企業を中心に、内部統制の整備・運用支援、内部監査の整備・運用支援、不正調査業務を提供している。日本公認会計士協会IT委員会情報セキュリティ対応専門委員。



《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料：1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

東京	正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
名古屋・大阪	正会員	32,400円(本体価格 30,000円)	一般	35,640円(本体価格 33,000円)

希望会場に「✓」をご記入下さい。		<input type="checkbox"/> 東京 (講師来場) 171029-0202	<input type="checkbox"/> 名古屋 171173-0202	<input type="checkbox"/> 大阪 171174-0202
ふりがな	会社名			
住所	〒			
TEL	FAX			
ふりがな	所 属		職	
ご氏名		役		
E-mail				

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領：申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(「TOP」→「公開セミナー」→「よくあるご質問」)
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
■お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL：03-5215-3514 FAX：03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

.....プログラム.....

■開催にあたって■

当セミナーでは「内部統制の期末評価に関する基本的なノウハウを身につける」ことを目的にします。すべての運用評価を終えて不備がひとつもなければ、結論は有効となり、判断に悩むことはありません。しかし何かしら不備が残る年度もあり得ます。そのためにも内部統制報告制度として有効性評価のプロセスはしっかりと理解しておきましょう。また、制度が始まってから10年弱が経過し、開示すべき重要な不備、付記事項や特記事項を記載する場面、訂正内部統制報告書を提出するケースなど、様々な各社の事例が蓄積されてきています。これらの事例を豊富に、かつ、使いやすく収録した「事例集」を配布します。事例集の具体的な事案を基に、有効性判断の実務の理解をより一層深めていただけます。さらに自社では「内部統制報告制度対応業務の最適化ができていない」と思っている、実際には改善の余地が多く残されているケースがあります。思い込みやすい点や最適化に向けた取組方針など、具体的に解説していきます。

1. 有効性判断の概要

- (1) 有効性判断の全体像
- (2) 運用評価と有効性判断
- (3) 内部統制報告書の記載事項
- (4) 条件分岐と評価結果の意味
- (5) 金額的重要性
- (6) 質的重要性
- (7) 付記事項
- (8) 特記事項

2. 全社的な内部統制の不備

3. 業務プロセスの内部統制の不備

- (1) 業務プロセスの内部統制の不備
- (2) 金額的重要性の具体的な検討
- (3) 不備が複数ある場合の検討
- (4) 不備の集計と各種様式

4. 制度対応の最適化に向けた取り組み

- (1) 制度と社内ルールのギャップ、会社の体制、監査法人の姿勢
- (2) 評価範囲の選定
- (3) 文書化(リスクとコントロールの識別)
- (4) 整備評価の最適化事例
- (5) 運用評価の最適化事例
- (6) 最適化に向けたスケジュール(監査対象部門・監査法人)

5. 本日のまとめと質疑応答

※最少催行人数に満たない場合には、開催中止となる場合がございます。

※セミナー中、映像及び音声のトラブルがあった場合、下記の通りご対応をさせていただきますので、ご了承の上、お申し込みを頂けますようお願い申し上げます。

■映像など切断了した場合、再接続してから講義を再開致します。

■接続が回復できない場合、もしくは音声が届かなくなるなど配信品質が著しく低下した場合、受講料を返金させていただきます。

